

なかしべつ 議会だより

No.135
令和4年10月



9月10日（土）・11日（日）しるべつと広場で『ひろばカフェ』が開催されました。
写真は「牧草ロールペイント」に参加し楽しむ子どもたちです。

主な内容 9月定例会 (P2)

「一般質問」9名 (P3～7)

新体制で議会がスタート (P9)

道内視察研修 (P11～12)

議会ホームページ



9月定例会 全議案可決

補正予算など

令和4年9月定例会を9月12日から16日まで開催。以下の議案について審議し、議決しました。

■令和4年度中標津町各会計補正予算

◇一般会計補正予算（第4号）

1億9499万7千円を追加し、総額150億6769万4千円となりました。

補正内容 自治体基盤クラウドシステム整備事業 町有バス整備事業
道路災害復旧工事費 高齢者世帯等生活応援給付金給付事業
社会教育施設Wi-Fi環境整備事業 ほか

◇介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

1015万5千円を追加し、総額16億4683万7千円となりました。

補正内容 支払基金交付金等返還金

◇病院事業会計補正予算（第3号）

3144万7千円を追加し、総額57億1365万1千円となりました。

補正内容 勤怠管理システム導入経費 医療機械器具等購入費

■報告

◇令和3年度健全化判断比率について

◇令和3年度資金不足比率について

※実質赤字はなく、健全な財政状況です。

■条例の一部改正

◇中標津町手数料条例の一部を改正する条例制定について

◇中標津町特別用途地区内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例制定について

◇中標津町下水道事業及び中標津町簡易水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整備に関する条例制定について

■条例制定

◇中標津町下水道事業の設置等に関する条例制定について

◇中標津町簡易水道事業の設置等に関する条例制定について

■その他

◇令和3年度中標津町水道事業会計剰余金の処分について

◇令和3年度中標津町立中標津病院事業会計資本金の額の減少について

◇戸籍に係る電子情報処理組織の事務の委託について

決算審査特別委員会を設置しました

これまで、委員7名による審査を行ってきましたが、本年より議長及び監査委員を除く16名の委員で審査を行います。これまで以上に充実した審査体制で決算審査に臨み、次年度予算審査につながる活動にしたいと考えています。

なお、委員長に佐野弥奈美議員、副委員長に江口智子議員が選任されました。

9月定例会で以下の項目について町長及び教育長から報告を受けました。

一般行政報告

1. 要望等について
2. 寄贈金品について
3. 大雨への対応状況について
4. 作況状況について
5. 令和4年度建設工事の発注状況について

教育行政報告

1. 各種大会等の出場結果について
2. スポーツ合宿の誘致について
3. 新型コロナウイルス感染症対策について

詳しい内容はこちらのホームページに掲載しています。
<http://www.nakashibetsu.jp/gikai/gyouseihoukoku/>



一般質問

全文はこちらのホームページに掲載しています。
<http://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>



質問 保育料の無償化について

答弁 十分に検討してまいります

宗形 一輝 議員

質問



中標津町の現状は保育の場が少なく、利用するにも高額であるため、保育園に預けられず、専業主婦となってしまう方もいます。

このことは労働人口が減少し、女性の社会的地位低下を招く一因にもなると考えます。

保育の場があれば、子どもを保育園に預けて、働くことができ、女性の社会進出・人手不足を解消し、適切な流れになるはずです。

保育制度を拡充することは、経営者にとって労働力の早期復帰が期待でき、優秀な人材を確保しやすくなります。

また、保護者にとっては保育の場を広くかつ無償・

再質問

今後、児童推計や保護者のニーズ調査、保育料金額設定の調査研究を行い、当町に必要な保育料を検討してまいります。

町長答弁

低価格で提供すること、子どもを育てやすい環境を整備していくことが、人口減・労働力不足の解消のひとつになるのではないかと思います。町長はどのようにお考えでしょうか。

町長答弁

十分に検討してまいります。

質問 AI (人工知能) の導入による業務の効率化と職員の 人員不足を補う行政サービス向上の取組について

答弁 費用対効果を十分検討し調査・研究を進めて
まいります

阿部 隆弘 議員

質問



AI の導入状況を見ますと、全国的に音声認識 (AI を活用した議事録作成) やチャットボット (AI を活用した問い合わせへの自動応答サービス) を導入している自治体が増えていきます。

本町では、チャットボットにおいて一部サービスの利用に取り組んでいるところですが、音声認識は議会のみで、行政には導入されていないため、人員不足や早期退職などで業務負担が増加しているのが現状です。音声認識を導入することで業務の軽減が図られ、チャットボットの導入により24時間365日いつでも町民からの簡易な問い合わせの対応が可能となり、住民サービスの向上につながります。

専門知識や経験が必要な業務も増加し、職員の経験年数を問わずに、的確かつ迅速な判断を行うことができます。AI を活用した職員の業務支援として、的確な回答を表示するシステムを導入し、町民対応の時間短縮と正確性の向上を図る取組が必要と考えますが町長の考えをお聞かせください。

町長答弁

現在、検証中の議事録作成サービスの活用や町公式 LINE のチャットボットのサービス拡充などを着実に進めながら、AI を活用した業務支援の費用対効果を十分検討し、調査・研究を進めてまいります。

再質問

自治体情報システム協議会の取組により経費負担の軽減も期待されますがどうでしょうか。

町長答弁

研究を進めてまいります。

質問 標津川堤防強化と西5条中標津橋の着工について

答弁 北海道と連携して早期着工に向け役割を果たしてまいります

松村 康弘 議員

質問



この夏のお盆の時期、道内は24時間雨量225ミリという豪雨に見舞われ、町内では大雨警報と洪水警報が出ました。

16日の午前中には中標津上空にも線状降水帯の様なレーダー映像が見られ、6年前の増水が思い起こされ強い不安を覚えしました。

実際に中標津において225ミリの降雨があったならば、西5条のあたりは確実に洪水になります。

過去に実施した現地調査や実際に工事を担当する北海道庁の住民説明会のことを思い起こすと、3年以上の月日が過ぎていきます。

町長答弁

この堤防工事を進めていただくことは当然にとり、喫緊の課題です。計画の現状と標津川中流域に生える樹木の根が洗掘され流れてくる危険性について、対応はどのようなになっていますか。

標津川改修工事の事業実施者である北海道の判断で進められる案件で立場上お答えできないのですが、架替工事のルート選定で地権者協議などに時間を要したことから着工が遅れ、令和5年度中には方向性が示されるかと聞かれています。

中流域につきましても北海道が、維持管理作業を実施し洪水時における流木・倒木の防止に努めているとお聞きしています。

いずれにしても早期着工に向けて本町として必要な役割を果たしてまいります。

質問 開陽台再整備の方針について

答弁 再整備の着手に向けて検討を進めてまいります

平山 光生 議員



質問

開陽台はおよそ30年近く大きな整備はされていないため、観光客のニーズに対応されていない多くの問題点を抱える状況となっております。

年数的にも改修が必要となる設備が多い現状を踏まえて、必要に迫られた施設の改修に着手していくのではなく、町民にも観光客にも愛される開陽台へと生まれ変わる必要があります。

交流人口の増加や雇用推進につながる総合的な再整備の構想を策定し、中標津町・観光協会・民間事業者と全ての町民が同じ方向を見て、少しずつでも整備を進めていけるようにしなければいけないと考えますが、開陽台の今後の方針についてどのようにお考えで

しょうか。

町長答弁

地域経済の影響を考えますと、観光需要の回復は喫緊の課題といえます。

駐車場トイレの老朽化や歩行階段、バリアフリー化への取り組みなど再整備が必要な時期に来ていると認識しています。

将来にわたって多くの観光客や町民に親しまれる施設となるよう、利用者や関係者などからご意見を伺いながら、開陽台再整備の着手に向けて検討を進めてまいります。

再質問

整備については多くの声を聞く必要があると思いますが。

グループごとに発表し合えて誰でも参加できる公開討論会の開催が有効であると考えます。

町長答弁

多くの方からのご意見を頂戴して調査を進めてまいります。

質問 介護人材の確保について

答弁 介護人材確保・育成対策に取り組んでまいります

佐久間 ふみ子 議員



質問

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるまちづくりの推進に、多様な介護サービスは重要な役割を担うものと考えます。

本町では、介護職員の不足は深刻な問題で、介護人材の確保が喫緊の最重要課題として、町内の児童生徒や保護者、進路指導担当者に介護の仕事の大切さや、やりがいなどを正しく理解してもらう必要があります。

そのためには現場で働く介護職員と連携し、進路指導教諭との懇談や中学校や高校を訪問して出張介護授業を実施するなど、介護職の魅力発信の活動を行って

はいかがでしょうか。

町独自としての介護職員の賃金アップや職場環境の改善、人材確保・養成の取組と町長のお考えをお聞かせください。

町長答弁

町独自の事業として介護職初任者研修を開催し、新たな介護の担い手となる学生、子育て層の資格取得の支援を行っています。

また、介護福祉士実務者研修の開催により現在まで介護福祉士国家試験に累計37名が合格し、処遇改善と介護サービスの質の向上に寄与しています。

将来の中核人材たる学生の進路選択に介護職を正しく認識し就業してもらえよう、学生や保護者、進路指導担当者への働きかけを強化することも重要と考えています。

介護職への理解促進と介護のイメージ転換を図り、介護人材確保育成対策に取り組んでまいります。

質問 コロナ後遺症の周知と支援について

答弁 保健所と連携し適切に対応します

江口 智子 議員



質問

現在主流となっているオミクロン株は無症状や軽症であっても、後遺症に悩まされる人が少なくないと報道されています。

私の周辺でも、倦怠感や咳、耳の聞こえが悪くなった、頭重感などの後遺症を訴える人が複数います。

職場で理解のない言動に辛い思いをした方、症状を言葉で説明できない子どもなど、周囲が後遺症に対する理解を深め支援すべきです。

病院のHPには重度の後遺症の一つに挙げられるME/CFS（筋痛性脳脊髄炎・慢性疲労症候群）に関する質問が寄せられるなど、圏内に重い後遺症を抱える方がいることをつか

わせます。

様々な後遺症の症状とともに、町内で受診できる医療機関や、相談窓口の紹介など、コロナ後遺症への周知と支援に対する町長の考えを伺います。

町長答弁

町内では8月以降急激に感染者が増加し、療養後も症状が続く、感染前と同様に復帰できない方がいることも聞き及んでいます。

後遺症を周知すること、不安を覚え心身の不調につながる恐れもありま

す。慎重な判断が必要とされることから、北海道のHPでは、最寄りの保健所へ相談を促し、その旨を町のHPにも掲載します。

保健所では、かかりつけ医の受診に繋げ、町立中標津病院を始め、他の医療機関でも診察が受けられます。

後遺症に関する相談があった際には、中標津保健所と連携を取りながら、適切に対応してまいります。

質問 地域公共交通のデマンド化について

答弁 デマンド化の可能性も含めて研究を進めてまいります

松野 美哉子 議員



質問

北海道の交通事故の半数に高齢者が絡んで、広く社会の問題にもなり、免許返納を勧める高齢者のご家族の心配を耳にします。

しかし、本人は返納後の交通環境を思い、病院・買い物・趣味の会などの社会活動への参加減少、運動能力や認知機能の低下を心配しています。

自立して暮らす高齢者や移動手段弱者のためにも公共交通環境の整備が求められています。

「空気を運んでいる」と謳われているバスの運行効率を高める方法として、デマンドバスが考えられます。

現在、組織されている「地

域公共交通活性化協議会」で調査・研究をし、当町に取り入れられる方法や体系を創り出す必要があると考えますが、町長の見解をお聞かせください。

町長答弁

少子高齢化の時代で注視すべき問題と認識し、デマンド交通は地方の公共交通対策の一つで、乗車要求に対し可能な限り目的の地まで輸送する交通手段です。

一方、予約システムの構築や運転手の確保並びに運行に係わる経費の問題があり、地域の成功例が本町にそのまま成り立つものではなく、様々なシミュレーションなど、デマンド化の可能性も含め研究を進めます。

現在、バスの運行を抜本的に見直し利便性の向上や、実際に乗っていただける路線再編に向け委員の方々と検討を進め、地域にとって持続可能な運行体制となるよう取り組んでまいります。

質問 シルバースポーツセンターの指定避難所について

答弁 速やかに中標津支援学校への移行手続きを進めてまいります

高橋 善貞 議員



質問

今年4月に新しい「中標津防災ハンドブック」が全戸配布され、その巻末に31箇所の避難所が数枚の図面にカラーでわかりやすく表示されています。

この指定避難所は屋内で、被災した住民が一時的に生活する建物です。

東中地区の指定避難所であるシルバースポーツセンターは平成元年に建設されましたが、老朽化に伴い雨漏りやストーブの故障など使用できない状況が頻繁にあり、平成30年度に屋根全面改修と暖房施設などの更新を行いました。

しかし、冬期間は建物の構造や大きさに暖房の効果が発揮できず、室内温度と

外気温が変わらない状況が続いています。

町内の指定避難所の中で地面に33年前の人工芝シートを敷いただけの避難所は「シルバースポーツセンター」だけです。

以前から早急な施設改善が困難なら指定避難所を「中標津支援学校」に変更することを要請していましたが、一向に対応する姿勢は見られませんでした。

直面する自然災害に対してこの指定避難所問題は住民にとって重要かつ緊急な問題です。

明日来るかもしれない災害に対して、行政は先送りせず迅速な対応をこるべきと思います。町長の見解をお聞かせください。

町長答弁

現在、中標津支援学校と避難所の指定に向けて協定書等の提案・協議を行っている段階です。

可能な限り速やかに避難所の移行を進めてまいります。

質問 小児科の外来予約について

答弁 予約制の導入は考えていません

安藤 美佳 議員



質問

子どもが新型コロナウイルス感染症で陽性者・濃厚接触者として自宅療養期間中、勤務先を休まなければならぬ場合があります。

また、学級閉鎖のため保護者は勤務先を休み、子どもを病院に連れていかねばなりません。

勤務先によっては特別休暇がなく、有休で対応しているところもあり、有休日数には限りがあるため、休めないという方もいます。

女性の就労支援と勤務先への配慮などの観点から、小児科に一人で行けない子どもがいる家庭や利用頻度の高い家庭など、一定の条

件を満たしている家庭に限定し、登録制度等を用いて予約システムの構築はできないのでしょうか。

町長答弁

小児科外来を予約制にした場合、事前に予約した患者の診療を予約時間どおりに行うためには、流行期の新規患者の当日受診を制限しなくてはなりません。

外来患者を長時間お待たせすることを避けるため、通常は1名の医師が外来を担当していますが、流行期など多くの患者が来院する場合、医師2名体制で診療を行っています。

一定の条件を満たしている家庭のみを対象に予約制を導入するシステムにつきましては、公平公正な受診機会を確保する観点から、現在のところ導入は考えていませんが、今後も迅速な診療を心がけ、より良い病院利用運営に努めてまいります。

意見書

みんなの声を国政に



詳しい内容はホームページに掲載しています。

<http://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>

議員から意見書案が発議され、定例会において審議の結果可決し、関係機関に提出されました。

2023年度国家予算編成における教育予算確保・拡充、就学支援の充実に向けた意見書

提出者 佐藤 武志 議員

1 義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率を1/2に還元すること。

2 「30人以下学級」の早期実現に向けて、小学校1年生、中学校3年生の学級編成基準を順次改定すること。

3 また、地域の特性にあつた教育環境・教育活動の推進、住む地域に関係なく子どもたちの教育を保障するため、計画的な教職員定数改善による実質的な教職員増の早期実現、教頭・養護教諭・事務職員の全校配置の実現のため、必要な予算の確保・拡充を図ること。

4 文部科学省の2021年12月の「就学援助実施状況等調査」では、要保護・準要保護率は全国で14.52%（7人に1人）、北海道においては全国で8番目に高い18.30%（5人に1人）、本町では、前年より15名減少しているが、236名で12.88%（8人に1人）となつていて、国の責任において就学援助の堅持、教育予算の十分な確保・充実に努めること。

5 コロナウイルス感染症に関わる心のケアや学習環境に必要な支援を行うこと。

6 教職員の超過勤務実態の解消に向け、現場の声を反映した実効性のある対策を実施すること。

国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

提出者 山口 雄彦 議員

1 道路の整備・管理が長期安定的に進められるよう、道路関係予算の所要額を確保すること。

2 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を計画的に進めるために必要な予算・財源を確保すること。

3 また、継続的・安定的に国土強靱化の取組を進めることが重要であることから、5か年加速化対策後も予算・財源を通常の予算とは別枠で確保し、継続的に取り組むこと。

4 新広域道路交通計画に基づき、高規格道路について、着手済み区間の早期開通、未着手区間の早期着手及び暫定2車線区間の4車線化といった、機能強化を図ること。

5 また、高規格道路と並行する国道のダブルネットワークの構築や道路の防災対策を図ること。

6 老朽化対策を推進するため、点検・診断・補修などのメンテナンスサイクルを確立し、予防保全を含む戦略的な維持管理・更新事業を行うための技術的支援の拡充を図ること。

7 地域の安全な暮らしや経済活動を支える基盤づくりのため、道路の整備や交通安全対策など、年間を通じた維持管理を含む年間を通じた維持管理の充実を図られるよう、必要な予算を確保すること。

8 災害発生時の迅速かつ円滑な復旧等のため、北海道開発局及び開発建設部の人員体制の充実・強化を図ること。

第3回臨時会

7月19日に開催された臨時会において、補正予算等について審議し、議決しました。

■令和4年度中標津町各会計補正予算

◇一般会計補正予算（第3号）

2億1884万8千円を追加し、総額148億7269万7千円となりました。

◇病院事業会計補正予算（第2号）

5148万円を追加し、総額56億8220万4千円となりました。

◇工事請負契約の締結について（広陵中学校長寿命化改修建築主体工事）

◇工事請負契約の締結について（広陵中学校長寿命化改修電気設備工事 その1）

◇工事請負契約の締結について（広陵中学校長寿命化改修電気設備工事 その2）

◇工事請負契約の締結について（広陵中学校長寿命化改修機械設備工事）

第4回臨時会

8月10日に開催された臨時会において、下記議件について審議し、議決しました。

◇所有権移転登記手続請求控訴事件に関する和解について

※他に新たな委員会構成等について選任及び選挙が行われました。（P9参照）

新たな体制で議会がスタート

(2022年9月3日～2024年9月2日)

常任委員会

総務文教常任委員会



熊倉重樹 佐藤武志 (後藤一男)
○佐久間ふみ子 ◎江口智子 松野美哉子

厚生常任委員会



阿部隆弘 千葉清正 吉田貫一
○平山光生 ◎松村康弘 鈴木克弘

産業建設常任委員会



黒川静夫 高橋善貞 佐野弥奈美
○山口雄彦 ◎宗形一輝 安藤美佳

議会運営委員会



宗形一輝 江口智子 松村康弘
○佐藤武志 ◎高橋善貞 後藤一男 鈴木克弘

議会広報特別委員会



平山光生 宗形一輝
○松野美哉子 ◎阿部隆弘 鈴木克弘

議会改革特別委員会

(令和2年10月6日設置)



高橋善貞 佐野弥奈美 平山光生
宗形一輝 ○松村康弘 ◎江口智子 鈴木克弘

中標津町議会議員会		中標津地域森林・林業・林産業 活性化議員連盟		監査委員	
◎熊倉 重樹 ○安藤 美佳 山口 雄彦 松野美哉子 黒川 静夫 千葉 清正		◎高橋 善貞 ○千葉 清正 阿部 隆弘 佐久間ふみ子 松野美哉子 佐藤 武志		吉田 貫一	
根室北部衛生組合 議会議員	根室北部消防事務組合 議会議員	中標津町外2町葬斎組合 議会議員		根室北部廃棄物処理 広域連合議会議員	
阿部 隆弘 吉田 貫一 鈴木 克弘 後藤 一男	佐久間ふみ子 江口 智子 鈴木 克弘 後藤 一男	佐野弥奈美 佐藤 武志 鈴木 克弘 後藤 一男		平山 光生 松村 康弘 鈴木 克弘 後藤 一男	

◎委員長(会長) ○副委員長(副会長)

ひびくちメッセ

「常任委員会」

議案などを専門的に、効率的に審査する常設の委員会のこと。総務文教、厚生、産業建設の3つの常任委員会があり、議員はいずれかの委員会に所属している。

「議会運営委員会」

円滑な議会運営を行うために、議会運営の全般について協議し、意見調整などを図る常設の委員会のこと。

「特別委員会」

特定の事件を集中的に審査するために、必要に応じて本会議で議決されて設置される委員会のこと。



令和4年6月29日(水) 根室市議会

コロナ禍のため2度の延期を経て、根室市議会への視察を行いました。

事前に質問事項への回答を受け、当日は田塚議長、工藤副議長のもと根室市の議会改革の経緯を伺った後、通年議会、議会基本条例を中心に運用状況を学びました。

根室市の議会運営は、会派制によるところが大きいものの、中標津町議会においても、代表者会議に類する正副委員長会など、合意形成の場として必要との結論に至り、後期より実践すべきこととして議会運営委員会に申し送りしました。

他にも委員会の代表質問や、委員間討議など、申し送り事項は数件にわたり、先に視察した白老町議会、浦幌町議会、そして根室市議会から学んだことを、中標津町議会に落とし込み、早期に実践する予定となっています。

また、前号にて一般質問をする議員の偏りに対する指摘をいただいていることを報告しましたが、9月定例会では9名が一般質問し、少しずつではありますが、改革の成果が表れていることを感じます。

今後は12月に向けて結審すべく、更に議論を深めていきます。

議会改革特別委員会 委員長 江口 智子



私たち議員18人と『対話』しませんか♪ ワールドカフェで開催します

Nakashibetsu 議会 ミルクのcafé 

11月27日

今年度中止



議会報告会ホームページ

- 参加される方は、マスク着用・手指消毒・検温にご協力ください。
 - 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により中止となる場合がございます。
- ※中止の場合はHP・SNS・「FMはな」で周知します。

人事案件



大友 賢治 氏

任期
3年間
法務大臣の委嘱の日から

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて適任としました



細谷 俊輔 氏

任期
令和4年10月1日から
令和8年9月30日

教育委員会委員の任命について同意しました

全道議長会議員研修会

7月6日
札幌コンベンションセンター

「参議院最終情勢分析と選挙後の政局展望」

政治ジャーナリスト 泉 宏 氏

北海道町村議会議長会主催の議員研修会が開催され、コロナ対策のため午前と午後の2回に分けて実施されました。

月刊誌等で政治コラムを掲載し、政治記者として活躍されている講師が「今、永田町で何が起きているのか、今後の中央とのかかわりをどうもっていけるか」と題して、今後の参議院選挙後の展望を見据えた内容の講演でした。



道内視察研修報告

7月7日

北海道町村議会議員研修会に合わせて、コロナ禍で延期しておりました道内視察研修を常任委員会ごとに実施しました。

総務文教常任委員会

三笠市立三笠高校 とわの森三愛高校

●三笠市立三笠高校

卒業までに調理師資格を取得できる調理師コースがあります。

また、市で建設した研修施設「エソール」では、部活動を通して運営、調理、開発、接客と実践的に学びを深めることができます。

●とわの森三愛高校

中標津町と協定を結んでいる酪農学園大学付属高等学校で、専用牛舎で実習可能な全寮制の機農コースや敷地内の動物医療センターで実習可能な獣医・理数コース等多くのコースがあります。

特色は違いますが、専門的に学習するための施設や環境を整える取組、地域との連携方法等今回学んだことを今後の議会活動に活かしていきます。



厚生常任委員会

恵庭市焼却施設 恵庭市納骨堂てらす

●恵庭市焼却施設

令和2年度稼働した施設で、焼却施設の余熱の活用や生ごみの污泥混合処理、発生するバイオガスの売却等先進事例を学ぶことができました。

●恵庭市納骨堂てらす

ペットが納骨可能なスペースやデジタル祭壇などの設備があり、室内型施設の必要性を感じました。



産業建設常任委員会

北海道立北の森づくり専門学院 カムイの杜公園

●北海道立北の森づくり専門学院

本町において林業大学校の誘致活動をした経緯があり、どのような学校運営がされているのか視察してきました。

林業の先進地フィンランドの学校との連携、最大14の資格がとれる学校として、就職しても即戦力となるなどの説明を受けました。

●カムイの杜公園

本町でもキャンプ場の利活用について検討していることから、旭川市のキャンプ場を視察しました。

デイキャンプを含め多い日で160名の利用があり、ゴミステーションの利用方法の徹底や、料金改定を実施し、管理棟ではキャンプ用品を販売していました。



視察の様子



総務文教常任委員会

活動レポート



総務部

●町財政の現状について

令和3年度普通会計決算の概要について、歳入決算額178億7813万1千円、歳出決算額172億4741万6千円との説明を受けました。

●町税について

町民税全体の調定額は16億8895万2千円、収納額は16億2791万5千円で、収納率は前年度より0.41%上回る96.39%となり、固定資産税、軽自動車税の収納率も前年度より上回っているとの説明を受けました。

●北方領土対策について

以下の報告を受けました。
1 第4回北方四島交流訪問事業の中止を決定。

2 西銘内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）と元島民等との懇談会を7月14日

に実施。

3 「えこぴりか」による洋上慰霊を7月23日から8月10日に計10回を実施する予定。

4 北方領土返還要求運動の強調月間に、なかしべつ夏まつり会場にて署名活動を、総合文化会館にて北方領土パネル展を実施。

5 令和4年度（第50回）北方少年少女交流事業へ計根別学園9年生一人が参加。

6 「北方領土まで歩く」会は中止。

●ふるさと応援制度推進事業について

白糠町、別海町の自治体と情報交換、返礼品事業者会議の開催、返礼品の新規事業者などの拡充に向けての取組、寄附者へのPR方法について報告を受けました。

●川崎市友好都市協定30周年事業について

なかしべつ夏まつりで、川

崎市のPRブース出店の予定。

11月4日から6日まで開催するかわさき市民祭り出店の予定。

教育委員会

●広陵中学校仮設校舎の視察について

冷暖房設備及び生徒の避難導線の確保について説明を受けました。

●日本体育大学連携協定推進事業について

以下の報告を受けました。

1 小中学生・高校生対象のラグビー教室「ラグビーフエスター2022 in なかしべつ」の実施。
(8月4日～6日)

2 「日本体育大学駅伝合宿及びスポーツ教室」の実施。
(8月18日～28日)

3 町内の小学生に対し「整列と行進の指導」の実施。
対象の学校及び日時については、今後決定予定。

※今後の新型コロナウイルスの感染状況等によっては変更も考えられる。

●学校給食について

7月から調理員12名が8名になることから、副食を簡素化するとの報告を受けました。

委員会開催 8月1日

8月12日

(阿部 隆弘 議員)



厚生常任委員会

活動レポート



町立病院

●管理運営について

現在までの外来・入院患者数、さらに診療収入額を主体に四半期（4～6月）の経営状況について説明を受けました。

前年と比較すると入院・外来を合わせた診療収入は増収となり、コロナ禍で医師を中心とした医療スタッフの皆様が健闘されていると改めて感じました。

110床プロジェクト（入院患者110床確保）もスタートし、各科で目標やスケジュール等を現在集約中であり、8月中旬に医師と共に取りまとめ作業を終えたいとの報告がありました。

先の経営改革の中で予定していた町民を対象とした「医療講座」も薬剤師・検査技師・リハビリ担当技師の協力を得

て、準備ができしだい実施したいとの報告がありました。

議会としても一人でも多くの町民の皆様に参加していただけるよう協力したいと思います。

町民生活部

●新型コロナウイルスへの対応について

委員会開催時点で7月10日を基準とした接種状況の報告がありました。

接種対象人口22,825人（6月30日時点）に対する1回目から4回目接種を完了した人数と接種率は次の表のとおりです。

1回目接種
19,628人
85.99%
2回目接種
19,548人
85.64%

3回目接種
16,576人
73.62%
4回目接種
57人
0.25%

また、5歳から11歳人口1,367人（6月30日時点）に対する小児用ワクチンの接種率については次表のとおりです。

1回目接種
572人
38.8%
2回目接種
515人
37.43%

今後の予定として、3回目接種から5カ月以上経過した対象者へ順次接種券を発送していくとの報告を受けました。

●住民生活・環境衛生事業について

中標津町における戸籍システム機器の運用形態を現在の

「自庁舎設置型」から新たに

最大10市町村がサーバー等の機器を共有する「共同利用型クラウド方式」に移行し経費節減、情報管理の強化を図りたいとの説明がありました。

補正予算提案までに「費用対効果」の資料を提出するよう要請しました。

●その他

第2回中標津町地域公共交通活性化協議会で、スタート直後から「市内循環線2便減便」が提案されたことは、交通計画策定の順序が違つこの指摘をつけました。

第3回協議会（7月8日開催）において改めて議論していくこと、当初の10月改正を12月改正に延期するとの報告がありました。

委員会開催 7月22日

8月4日

（高橋 善貞 議員）

産業建設常任委員会

活動レポート



建設水道部

●町道旭養老牛北23号道路の陥没について

6月28日夜から29日の朝にかけての降雨に伴い、旭養老牛地区の町道43線から46線間の熊川に敷設されている横断管上部の盛土が流出し、横断管が大きく変形したことで路面陥没が発生しました。

現在、通行止めとしており、応急工事の測量、設計など経費は補正予算により対応し、本復旧工事は令和5年度に実施するこの報告がありました。

●広陵中学校仮設校舎視察について

広陵中学校の校舎改修工事の間に使用する仮設校舎の視察を行いました。

仮設校舎は、令和4年8月～令和6年1月まで使用され、

その間、生徒の敷地内通路や車両通行路の安全性を確認しました。



●都市計画の変更について

8月30日開催予定の中標津町都市計画審議会における本審査の案件と、用途地区の変更に伴う条例改正の必要性について説明を受けました。

●中標津町空家等対策計画について

中標津町の空き家率は2%

で全国の13.6%を大きく下回っている。

しかし、将来人口や年齢構成を考慮すると、今後の住宅ストックは供給量が世帯数を上回り、空き家は増加することが予想されています。

今後の空き家対策として空き家発生の予防に重点を置き、住民や移住者、企業などが活用しやすい環境整備を行う一方で、老朽化が著しく除却せざるを得ない建物への対応など、幅広い対策によって、町づくりの一環として進めることが理想となるこの説明を受けました。

●建設工事の発注・進捗状況について

令和4年7月28日現在の建設工事発注状況は、令和3年度継続費分で、全て発注済みで2件、3千878万6千円。令和4年度は、発注計画で

158件、39億2953万2千円、発注済みは112件、36億4770万円との報告を受けました。

経済部

●令和3年度観光客入込数について

根室管内では96万7800人で前年度と比較し91.2%の9万3600人の減少となり、また、中標津町では15万3500人で前年度と比較して74.7%の5万2000人の減少で、訪日外国人も入国規制により減少したままとなっているこの報告を受けました。

委員会開催 7月12日

8月5日

(千葉 清正 議員)

令和4年7月から9月までの活動報告

月 日	行 事	出席者	月 日	行 事	出席者
7月1日	議会運営委員会 議会モニター会議	全 委 員 議長・議会運営委員 広報委員長	30日	議会改革特別委員会 都市計画審議会	全 委 員 副議長・産業建設委員長 議 長
3日	別海駐屯地創立57周年記念行事	議 長	31日	根室本線花咲線対策沿線地域連絡 協議会総会（根室市）	議 長
4日	議会広報特別委員会	全 委 員	9月1日	9月定例会議件事前説明	正 副 議 長・ 正副議運営委員長 三常任委員長
6日	北海道町村議会議長会主催議員研 修会（札幌市）	全 議 員			
7日	道内視察研修 総務文教常任委員会（三笠市・江 別市）	議長・全委員	7日	議会運営委員会	全 委 員
	厚生常任委員会（恵庭市・千歳市）	全 委 員	12日	議会運営委員会	全 委 員
	産業建設常任委員会（旭川市）	全 委 員		総務文教常任委員会	全 委 員
12日	産業建設常任委員会	欠 席 1 名		厚生常任委員会	全 委 員
14日	西銘内閣府特命担当大臣との懇談会	議 長		産業建設常任委員会	全 委 員
19日	第3回臨時会	欠 席 1 名		議会運営委員会	全 委 員
	三合同常任委員会	欠 席 1 名		9月定例会本会議（1日目）	全 議 員
	全員協議会	欠 席 1 名		全員協議会	全 議 員
	議会臨時総会	欠 席 1 名	13日	決算審査特別委員会	全 委 員
	議会改革特別委員会	全 委 員		厚生常任委員会	全 委 員
22日	厚生常任委員会	全 委 員		産業建設常任委員会	全 委 員
8月1日	総務文教常任委員会	欠 席 1 名	14日	総務文教常任委員会	全 委 員
	根室北部廃棄物処理広域連合臨時会	欠 席 1 名	15日	議会運営委員会	全 委 員
3日	議会運営委員会	全 委 員	16日	9月定例会本会議（2日目）	全 議 員
4日	厚生常任委員会	全 委 員		決算審査特別委員会	全 委 員
5日	産業建設常任委員会	全 委 員		全員協議会	全 議 員
10日	三合同常任委員会	欠 席 2 名	18日	釧路・根室の酪農畜産を守ろう！ 生産者緊急大決起集会（釧路市）	議 長・産業建設委員長
	第4回臨時会	欠 席 2 名	21日	議会広報特別委員会	全 委 員
	全員協議会	欠 席 2 名	22日	議会広報特別委員会	全 委 員
	議会運営委員会	欠 席 1 名		決算審査特別委員会（総務文教常 任委員会所管）	関 係 委 員
12日	総務文教常任委員会	全 委 員	27日	厚生常任委員会	全 委 員
	中標津建設業協会要望	議長・産業建設委員長		決算審査特別委員会（厚生常任委 員会所管）	関 係 委 員
14日	中標津町殉公者之碑参拝及び殉公 者追悼式	議 長	28日	議会改革特別委員会	全 委 員
	北方領土返還要求中標津住民大会	議 長		岡田内閣府特命担当大臣関係団体 等との要望・懇談会（根室市）	全 議 員
22日	議会運営委員会	欠 席 1 名	29日	産業建設常任委員会	全 委 員
25日	中標津町空家等対策協議会	産業建設委員長		決算審査特別委員会（産業建設常 任委員会所管）	関 係 委 員
26日	北方領土返還要求北海道・東北国 民大会（札幌市）	議 長		根室北部衛生組合議会臨時会（標 津町）	関 係 議 員
29日	中標津町地域材利用促進協議会	高橋林活会長			

一部事務組合の議会報告 9月29日開催

根室北部衛生組合

（構成町：中標津町、標津町、羅臼町）

- 監査委員の選任 吉田貫一氏
- 北海道市町村総合事務組合規約の変更について
- 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
- 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について
- 一般会計補正予算（第1号）

議員の年賀状等について

公職選挙法において、議員は選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状・暑中見舞状などの時候のあいさつ状（電報なども含まれます）を出すことは禁止されていますので、ご理解をお願いいたします。

議会だよりに対するご意見をお寄せ下さい。

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地

中標津町役場

TEL (0153) 73-3111 FAX (0153) 73-5333

〈議会事務局にご連絡を〉

・ホームページは <http://www.nakashibetsu.jp> ・メールは gikai@nakashibetsu.jp

議会ホームページ



発行／北海道中標津町議会

編集／議会広報特別委員会